

全国産業資源循環連合会 青年部協議会 中部ブロック

第21回通常総会

日 時：令和5年5月26日（金）午後5時
場 所：じゅうろくプラザ：岐阜市文化産業交流
センター（岐阜市橋本町）
出席者：69社（会場32社 委任状37社）
／会員数216名

全国産業資源循環連合会青年部協議会 中部ブロック（森田将也ブロック長（岐阜県））の「第21回通常総会」が岐阜市にて開催されました。

総会は伊藤博人幹事（岐阜県）の司会進行で執り行われ、始めに来賓としてご臨席の、全国産業資源循環連合会青年部協議会会長 海野泰兵氏、全国産業資源循環連合会青年部協議会副会長 岩野公志氏、全国産業資源循環連合会青年部協議会九州ブロック長 松本信吾氏らの紹介がありました。来賓の挨拶では海野会長が祝辞を述べられました。



来賓の挨拶をする
海野会長



挨拶をする
森田ブロック長

次に、森田ブロック長から開会の挨拶が述べられた後、議案審議が始まり、宮崎正弥副ブロック長が議長となり、第一号議案は熊王紀夫監事、第二号議案は森田ブロック長より説明があり、二案共に原案通り承認され総会は閉会しました。

- 第一号議案 2022年度事業報告並びに決算承認
2022年度監査報告
- 第二号議案 2023年度事業計画並びに事業予算承認

2023年度事業計画

1. 重点項目

「Take a chance」

昨年はコロナの状況を加味しつつも静岡県主催の他ブロック交流事業、全国事業第12回カンファレンス in 岐阜、三重県主催の伊勢神宮正式参拝ツアーなど約2年ぶりに対面式の事業の開催が叶いました。これも前年度の重点項目である「日々進み続けること」を中部ブロックの皆さんが意識し、近年培っ

たコロナ対策を実施しながら行動できたことが開催に繋がったと思います。

今年度は、コロナパンデミックの影響もまだまだ予断の許さない状況ではありますが、コロナ禍だからこそ現れるチャンスがあると思います。そんな時、「行動」し、そのチャンスを掴むことが出来るよう日常からアンテナを立て情報収集しながら行動していきたいと思います。チャンスの中には仲間との絆を深めるチャンス、ビジネスのチャンスと様々ですが、どんなチャンスも掴み取りモノにできるよう取り組んでいきたいと思います。

今年度も日々進み続け皆がチャンスを掴み取り、中部ブロック活動の益々の発展に寄与していきたいと思います。

今年度の中部ブロック活動は、以下のような計画で実施していきます。

2. 事業方針

全国産業資源循環連合会青年部協議会中部ブロックは、今後の廃棄物処理業界を担う人材の育成に努めるとともに、ブロック会員間との交流を深め、業界の健全な発展に寄与する事業を推進して参ります。

3. 事業計画

(1) 勉強会・交流・親睦事業

- ・第21回総会（担当：岐阜県）
- ・第1回事業（担当：三重県）
- ・第2回事業（担当：静岡県）
- ・第3回年始親睦会（担当：愛知県）

※事業内容は各県で協議して頂き、参加しやすく、参加して実りのある事業を、各県の皆様で企画していただきたいと思います。

(2) 全国産業資源循環連合会青年部協議会事業

2023年度全国産業資源循環連合会青年部協議会事業への積極的な参画に努めます。



10月27日に開催予定の「全国大会 in 沖縄」のPRに、九州ブロックの方が横断幕を持ち「全国大会を盛り上げましょう」と参加の誘致を行いました。